

田舎暮らしのまちしるべ

第19回 IJU（移住）応援団交流会を
南河内光西寺土生公会堂で開催

【やまぐち暮らしセミナー／ふるさと回帰フェア】

県、国やNPOが主催する移住・定住促進のイベントに中山間地域振興課の職員が参加しました。このイベントで岩国市への移住相談や岩国市のPR活動をしています。9／10に参加したふるさと回帰フェア2017 in 東京について紹介します。

47都道府県、350の自治体が出展する大規模な移住フェアです。リタイア後終の住処を求める中高年層、田舎でのびのび子育てしたい子育て層、および新しい生き方を求める若者層とこれらの人を受け入れたい地域（地方）との出会いの場を提供することで一極集中、人口減社会と言われる日本の再生を目指すことを目的としたイベントです。

訪問者が岩国市を良く知らないためかブースへ訪れる人が少なく、声掛けして12組の移住相談者が集まりました。若者の相談が多く、しかし情報収集がほとんどで即に移住に繋がっていないのが現実です。PR活動を通じ岩国市の名前や良さを若者に知ってもらい移住に繋げることが重要と考えます。



写真左は岩国市のブースで相談者へ説明中の職員。写真右は山口県のブースの様子。

【今年度、新しくIJU(移住)応援団になられた方と地域を紹介します】

移住応援団の名称が中田地区自治会長連絡協議会で、3人（清弘様、勝井様、岩永様）の構成で昨年4月に発足しました。活動実績として、田尻地区の空き家1件を空き家バンクに登録出来ました。

中田地区は岩国市の南西部にある周東町の南に位置し、4つの自治会、世帯178戸、人口353人（2／1現在）で構成され、稜線が富士山に似た田尻行者山を望む田園風景が美しいところです。公民館と小学校（休校中）を中心として集落が点在しています。近くの中山川ダム湖は山口県で開催された国体カヌーの競技会場となり、毎年2月に中山湖健康マラソンが開催され、小学生から一般の部に老若男女が参加するイベントとなっています。今回（第24回）は2月11日（日）に開催され厳しい寒さの中、437人のランナーが元気に駆けました。

12/3(日)に開催された中田文化健康まつりに行って来ました。こけ玉、書、絵てがみの展示、茶席や大道芸の披露があり多数の住民が集う楽しいまつりでした。また花卉、野菜、果物やスイーツ販売の出店もありました。移住応援団はまつりのスタッフとして活躍していました。



写真左は移住応援団:左から勝井さん、清弘会長、岩永さん



写真中はまつりの様子



写真右は大道芸に拍手する会長

【南河内光西寺土生公会堂にて移住応援団交流会を開催】

第19回IJU応援団交流会を平成30年1月17日(水)に南河内光西寺土生公会堂にて開催しました。当日は市内各地から36人の方にご参加いただき、事例発表や意見交換(グループ討議)を行いました。お忙しい中、ご参集いただいた応援団の皆様には大変お世話になりました。

【要約】

平成29年度のUJIターンに関する業務の状況は以下の通りです。12/31現在、相談件数は291件。空き家登録12件の内訳は本郷町4件、南河内4件、錦町1件、美川町1件、周東町1件、柱島1件。成約8件の内訳は南河内3件、錦町3件、美川町1件、美和町1件です。



写真は、左から交流会出席者、河内空家応援隊の小幡代表と南河内地区自治会連合会：山本会長

【河内空家応援隊の発表内容】

河内空家応援隊は初代丸茂代表のもと2016年6月に10名でスタート、現在小幡代表のもと13名で活動しています。活動状況として、2016年度は会合と地区別空き家訪問を5回実施、2017年度は岩国市へ空き家情報を8件提供、11月に「美川地区定住促進協議会」との交流会を開催。成果として移住者の入居等(成約)5件に繋がっています。また美川地区移住応援団との交流会を通じて美川ふるさと通信(広報活動)や本郷地区で実践しているポスティング活動(効率的な空き家発掘方法)を知ることができました。その成果を踏まえ12月に移住者を地域へ紹介する「河内移住便り」を発行し南河内地区全戸へ配付しました。今後、美川地区移住応援団との交流会は継続、他地区の移住応援団との交流会を開催していきます。

最後に移住応援団へ今後の活動(空き家発掘)に期待したいと思います。

事務局から 平成30年6月下旬に第20回IJU(移住)応援団交流会を開催する予定です。